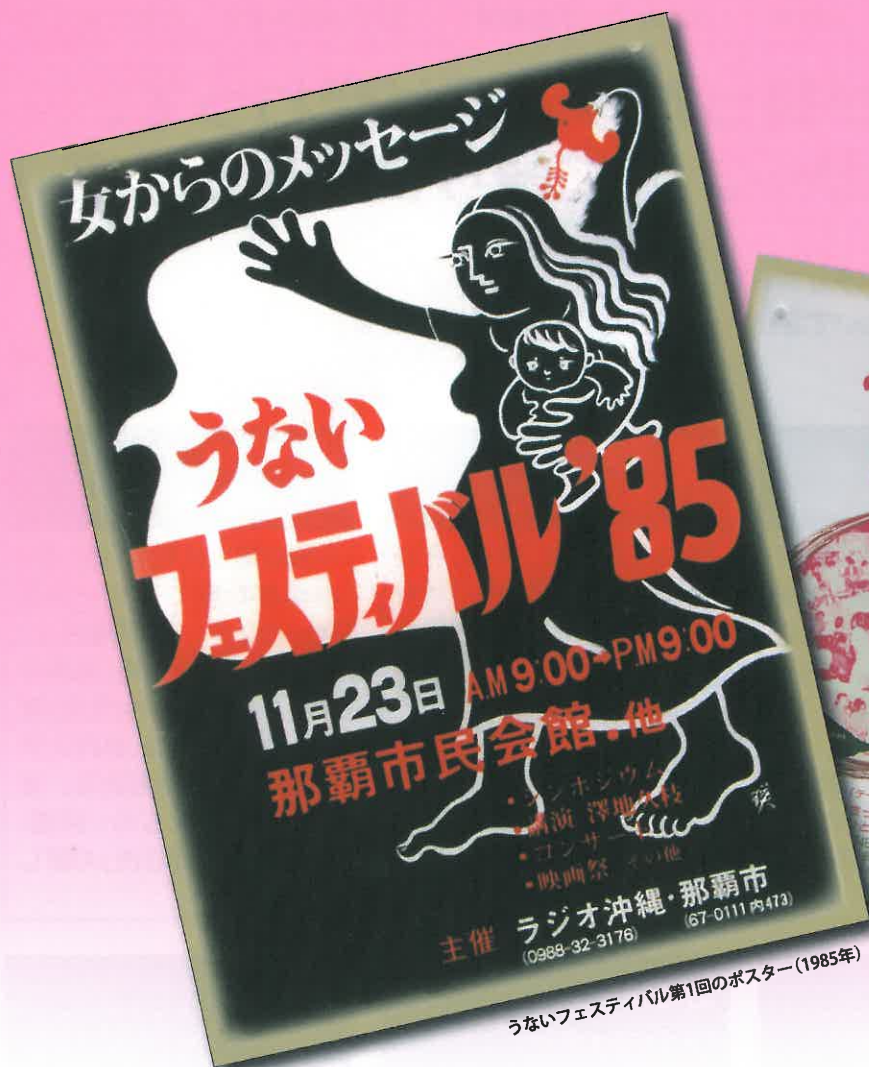


# うないフェスティバル 2014

“うない”を語る!“うない”が語る!  
～ 平和・人権・環境～



うないフェスティバル第1回のポスター(1985年)



※「うない」は沖縄の古い言葉で姉妹を意味します。ちなみに兄弟は「ういきー」と言います。

手話通訳あり

2014年 **12月10日(水)**

時間：18:00～20:30(17:30開場)

場所：パレット市民劇場(パレットくもじ9階)

入場料：1,000円

主催：第30回うないフェスティバル2014実行委員会・那覇市 共催：(株)沖縄タイムス社 協賛：久茂地都市開発(株)  
【お問合せ】那覇市 総務部 平和交流・男女参画課 なは女性センター(TEL 098-951-3203 FAX 098-951-3204)  
【前売券】デパートリウボウ8階サービスカウンター(TEL 098-867-8246) なは女性センター(TEL 098-951-3203)

# 第30回 うないフェスティバル 2014

【幕開け】 古典舞踊「かぎやで風」 国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者



真踊流佳幸の会会長  
宮城 幸子



玉城流扇寿会家元  
谷田 嘉子



玉城流翔節会家元  
玉城 節子



玉城流扇寿会家元  
金城 美枝子



玉城流二代目家元  
玉城 秀子



真踊流佳喜の会会長  
喜納 幸子



玉城流いずみ会家元  
又吉 静枝



太圭流家元  
佐藤太圭子

【地謡】 琉球古典音楽野村流保存会 琉球箏曲保存会 光史流太鼓保存会

歌・三線 / 金城タケ子 赤嶺 ミヨ 糸数春美 上地弘子 上原宏子 箏 / 平良マサエ 赤嶺スエ子  
上原トミ子 神谷美枝子 浦崎清子 牧志寿子 平良初恵 笛 / 田川多美子 太鼓 / 新里尚子

## 第1回から30年経った今、何が違って、何が変わらなかったのか…。共に語り合いましょう！

【コーディネーター】 崎山律子 (フリージャーナリスト)

元琉球放送キャスター。現在はフリーで県内外において各種イベント・シンポジウム等の企画・制作を行う。

【シンポジウム パネリスト】

### 中山きく

(元白梅学徒)

1928年佐敷村(現南城市)生まれ。45年県立第2高女4年の時、野戦病院に補助看護婦として動員され傷病兵を看護、6月解散命令で戦場を彷徨。戦後は小学校教師として復興を支えた。退職後白梅学徒隊の記録をまとめ、沖縄戦体験継承活動と平和運動を続けている。

### 高里鈴代

(基地・軍隊を許さない行動する女たちの会)

うないフェスティバル第1回座長を務める。婦人相談員(7年)を経て、那覇市議を4期15年務める。「強姦救援センター・沖縄レイコ」(1995年)を設立。一貫して女性・平和・人権・環境問題に取り組む。著書『沖縄のおんなたち女性の人権と基地・軍隊』(明石書店)他。

### 比嘉美智子

(歌人・エッセイスト / 沖縄タイムス歌壇選者)

1935年那覇市生まれ。高校時代の作品に文学の先輩らは「天才少女」と賛辞を送った。琉大の初期文学活動に参加後、高校教師として後進を指導。80年代後半以降新聞歌壇選者、「花ゆうな短歌会」主宰など、沖縄歌壇を牽引してきた。歌集『月桃のしろき花びら』『一天四海』など。

### 宮城晴美

(沖縄女性史家)

沖縄の郷土月刊誌『青い海』の編集を経てフリーライターとなり、『座間味村史』をまとめる。その後、那覇市職員となり『那覇女性史』を発行。定年退職後、県内大学で非常勤講師を務める。著書『母の遺したもの—沖縄・座間味島「集団自決」の新しい事実』他。

### 三上智恵

(ジャーナリスト / 映画監督)

琉球朝日放送の設立から退職(2014年3月)までの19年間、QABメインキャスターとして活躍。初監督映画「標的の村～国に訴えられた沖縄・高江の住民たち～」は、ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞など17の賞を獲得。現在、次回作の準備を進めている。

### 仲田美加子

(那覇市文化協会会長)

1942年上海生まれ。中学校教諭を経て、那覇市教育委員会、那覇市役所を含め、約30年間の行政経験を経て、2002年に県内初の女性教育長に就任。その他、社会教育分野で沖国大、琉大等で非常勤講師を経験。講演・執筆活動。他機関の役職も兼ねながら現職にある。

### 山城紀子

(フリーライター)

那覇市生まれ。1974年沖縄タイムス入社。学芸部・社会部記者、学芸部長などを経て編集委員兼論説委員。2004年退社。現在も女性問題をはじめ、子どもや老人、障害者問題、医療や福祉の問題などをテーマに取材、執筆活動を続けている。

### 由井晶子

(フリージャーナリスト・第30回うないフェスティバル実行委員長)

1933年那覇市生まれ。55年沖縄タイムス東京支局に入り、90年まで東京在勤。編集局長、論説委員歴任、97年引退。うないフェスティバル実行委員長、ハンセン病問題ネットワーク沖縄代表など、在野の運動団体にかかわる。

【お問合せ】 那覇市総務部平和交流・男女参画課 なは女性センター (TEL 098-951-3203)

【前売券】 デパートリウボウ8階サービスカウンター (TEL 098-867-8246)  
なは女性センター (TEL 098-951-3203)